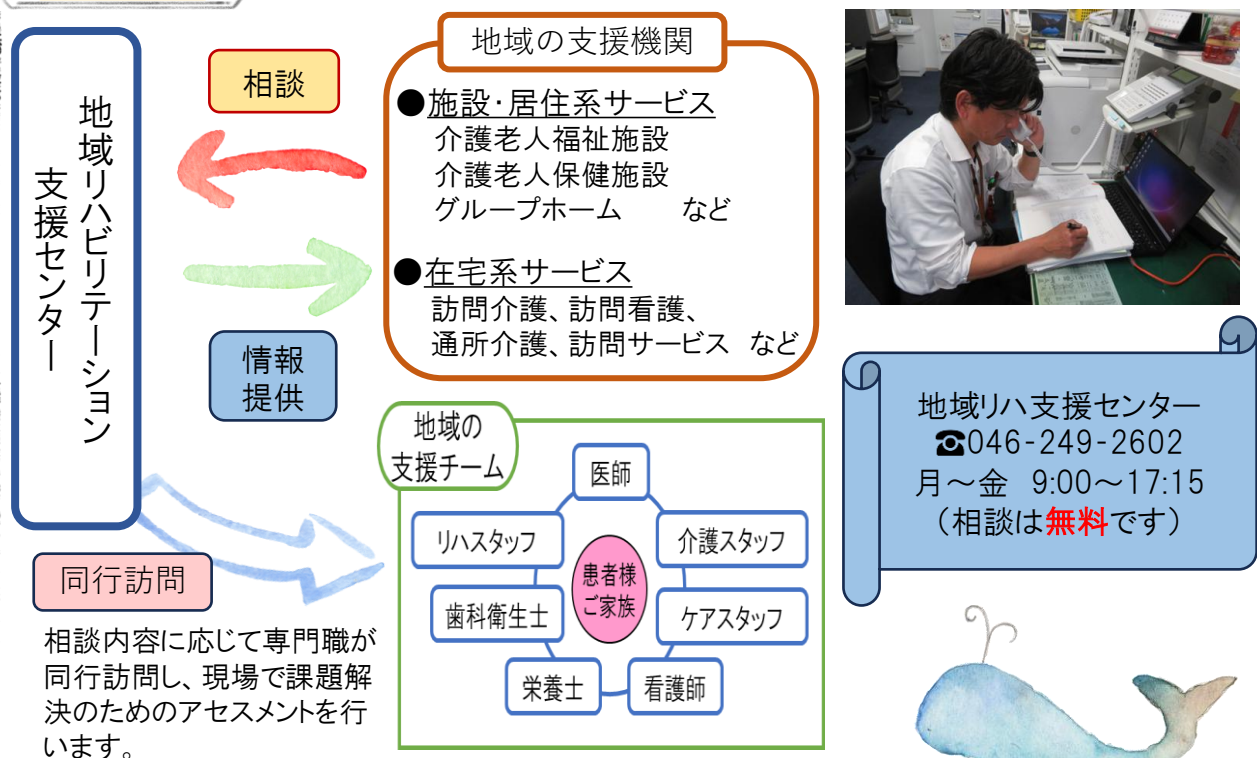


リハビリテーション専門相談のお知らせ

「**地域の支援者**」と連携し、リハビリテーションに関する総合相談や技術支援、制度の活用方法などの情報提供を行います。

相談の流れ



ご相談の際は、**地域の支援チーム**の意向や方向性も分かると具体的に進めやすいです。

相談例

- ・ベッドや車いすでの姿勢(ポジショニングやシーティング)をなんとかしたい。
- ・リフターを導入したいが、選定方法がわからない。
- ・介助方法(移乗方法)について相談したい。
- ・コミュニケーション機器の導入の流れについて知りたい。
- ・上肢の動きが悪いため、食事場面での工夫を教えてください。
- ・補装具などの障害福祉制度の利用について聞きたい。
- ・寝ながらスマホ操作や家電を操作したい。

などなど

高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、支援者のみなさまと一緒に考えていきましょう！

お困りごとがありましたら、ぜひ専門相談をご利用ください。

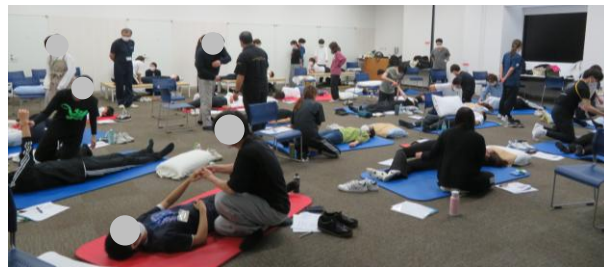
リハビリテーション専門研修

5.10(土) セラピストのためのハンドリング入門

対象者の身体に触れて動きを提供するための“ハンドリング技術”について、講義・実技を通して学びました。

参加者の声:

ハンドリングの基礎から学ぶことができて良かったです。また、誘導が苦手でしたが、直接見て聞いて体験する事で、苦手意識が減り、明日以降の臨床ですぐ活かしたいと思いました。



講師：神奈川県立保健福祉大学 作業療法学専攻 教授 玉垣 努 氏

6.5(木) ポジショニング入門

ポジショニングに必要な基礎知識やベッド上姿勢を中心とした姿勢援助のファーストステップについて学び、翌日から現場で実践できる実技体験(姿勢の整え方、クッションの差し込み方など)を行いました。

参加者の声:

ポジショニングは「隙間を埋める」ではなく、「体圧を分散させる」という考え方がとても大切だと実感できました。グループごとに意見を出し合い、考えることでとても刺激になりました。



講師：一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子 氏

6.6(金) ノーリフティングケア入門

腰痛予防と安全な職場環境づくりを目的に、ノーリフティングケアの基本理念(対象者とケア提供者双方の負担を軽減する)、介助技術、福祉用具の活用方法を実技を交えて学びました。

参加者の声:

福祉機器に触れ体験することができ、抵抗感を軽減することができました。ノーリフティングケアは利用者さんの機能を活かすだけでなく、支援者も護ることを知ることができました。



講師：一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子 氏

6.21(土) 神経難病の「人」と関わる コミュニケーション支援

その方に寄り添ったコミュニケーション支援とは？をテーマに、心身の状況に適したコミュニケーション手段の選択について、講義・障害体験・機器体験を通じて学びました。

参加者の声:

ケースを通し、支援のイメージを持つことができました。また、機器の特徴や視線入力の大変さなど直接触れて知ることができました。



医療法人社団芳英会 吉野内科・神経内科医院 ST 山本 直史 氏
ダブル技研株式会社 木口 貴史 氏
地域リハビリテーション支援センター OT 吉澤

7.5(土) 知的障がいのある方への支援

知的障がいがある方への支援として、リハビリ的な視点から身体機能の低下に対する対応や日常生活動作能力を維持するための工夫などについて学べる研修でした。

参加者の声:

意志決定や意思表示、興味などが身体機能の発達に大きく影響することがわかりました。また、行動分析の重要性や構造化することの大切さを学びました。



講師:

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法科 牛腸 昌利 氏
神奈川県立保健福祉大学 理学療法学専攻 浅井 直樹 氏
合資会社ハートフルライフ PT 大塚 匠 氏



8・9・10月の 専門研修（予定）



高次脳機能障がいセミナー 理解編	8月 23日（土）	神奈川県総合医療会館
車いすシーティング	9月 6日（土）	神奈川リハビリテーション病院
ADL支援の知識と実践	9月 27日（土）	厚木看護専門学校
視覚障がいのある方への支援	10月 4日（土）	神奈川リハビリテーション病院
からだにやさしい介助入門	10月 18日（土）	厚木看護専門学校

* 状況により、研修形式等の変更がある場合があります。適宜ホームページをご確認ください。

身近な道具を上手に活用しよう！「スマホ・タブレット編」

地域からのご相談で、ICT機器やコミュニケーション手段についてのお問い合わせが増えてきています。たとえば、「腕が動かしにくく、指で画面をタッチできないため、スマートフォンの操作が難しい」といった声や、「電話やSNS、LINEなどを使いたい」「自分ひとりで操作できる方法はあるのか？」といったご希望が寄せられています。そこで今回は、スマートフォンやタブレットをもっと上手に、そして自分らしく使っていただくための活用方法をご紹介しますと思います。



スマホ・タブレットの操作方法

① スイッチコントロール (スイッチアシスタント)

iPhone、androidスマホに標準装備されている機能。画面を直接タッチせずに操作できるようにする支援機能

- ・自分に合ったスイッチ(ボタン)を使える
- ・ホーム画面の移動やアプリの起動
- ・キーボードの入力
(文字やスタンプの入力)
- ・電話の発信・受信
- ・LINEやSNSアプリの操作も可能
(アプリの使い方次第)



② 音声入力

「siri」「Googleアシスタント」を利用し音声でアプリの一部を操作。または音声で文字の入力を行う機能

- ・メッセージやメール、LINEの入力
- ・メモや書類作成(Word、メモ帳など)
- ・GoogleアシスタントやSiriと連携
「ホームに戻る」「LINEを開いて」など、音声でスマホを操作
(設定が必要な場合や機種により対応状況が異なる)
「〇〇さんに電話して」「メッセージを送って」「天気を教えて」
などが可能



アクセシビリティとは、**すべての人が、年齢や障害の有無にかかわらず、平等に情報やサービス、環境へアクセスできるようにする考え方**です。この考え方は近年ますます広がっており、さまざまな支援機能の開発や、インターネット上での情報提供も進んでいます。

一方で、**機器があればすべての課題が解決するわけではありません**。利用される方の状態や目的に合わせて、**適切な機器の選定や設定の工夫、環境調整**が必要です。中には「どうしても使いづらい」「操作が難しい」といったケースもあり、**人と技術の両面からの支援が欠かせません**。



**地域リハ支援センターでも地域の支援者に向けた相談支援を行っています。
ぜひお気軽にお問い合わせください。**



高次脳機能障害支援室



2025年高次脳機能障がいセミナー 理解編

8月23日(土)に、「高次脳機能障がいセミナー〈理解編〉」を、例年通り開催いたします。昨年に引き続き、当事者の方にもご登壇いただきます。今年度は「いきいきと過ごすために～当事者から学ぶ～」をテーマに、ヴァイオリニストとしてご活躍中の増村さんによる演奏と、増村さんご本人、ご家族、そしてピアノ演奏者の方へのインタビューを予定しております。

医療機関を退院後、障害福祉サービスや介護保険サービスなどを利用しながら生活の安定を図り、さまざまな活動を通して社会参加を目指しておられます。社会参加の形や、それに向けた活動は本当に多種多様であり、ご本人に合った方法を一緒に考えていくことが大切だと感じています。

演奏会やインタビューを通して、「いきいきと過ごすこと」について一緒に考えてみませんか？ この理解編セミナーは当事者の方やご家族にもご参加いただける内容となっております。ご興味を持ってくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひ、お声掛けください。皆様の参加をお待ちしております！

(佐藤)

2025年度
高次脳機能障がいセミナー
理解編

いきいきと過ごすために
～当事者から学ぶ～

講演内容

◆第1部 講義
「高次脳機能障がいとは～押さえておきたいポイント～」
神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科 医師 青木 重晴
・公認心理師から 神奈川リハビリテーション病院 公認心理師 白川 大平
・支援コーディネーターから 神奈川リハビリテーション病院 支援コーディネーター 佐藤 健太

◆第2部 「演奏会」
増村さん(ヴァイオリン)

◆第3部 「インタビュー」

会場 神奈川県総合医療会館
(横浜市中区富士見町3-1)

募集人数 100人 受講料 1,500円

対象 「脳損傷等による高次脳機能障がい者」
に心のある方(医療・福祉・行政関係者・患者家族など)

開催日 8.23(土)
10:00
～16:20

主催: 社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター
協力: NPO法人 高次脳機能障害友の会ナナ

こちらより
申込ください



2025年度 専門相談 総数

	神経・筋疾患	脊髄障害	脳血管障害	骨関節疾患	後天性脳損傷(除くCVA)	脳性麻痺	知的障害	視覚障害	その他(切断・加齢等)	不明	合計
県央	6(3)	1	1	2		1	7(4)	4			22(7)
湘南東部		4(1)						1			5(1)
湘南西部	6		1								7
県西						1(1)					1(1)
横須賀・三浦	7(1)										7(1)
横浜市			1					9			10
川崎市								4			4
相模原市								2			2
県外											0
合計	19(4)	5(1)	3	2	0	2(1)	7(4)	20	0	0	58(10)

令和6年4月～
6月までの
専門相談実績

	障害者更生相談所	居宅介護支援事業所	市町村	地域包括支援事業所	本人・家族	障害者相談支援事業所	障害者施設	医療機関	訪問看護事業所	保健福祉事務所	高齢者施設	訪問介護事業所	教育機関	その他	合計
県央		1		2	4	1	7(3)		4(2)	1(1)	1(1)			1	22(7)
湘南東部					1				4(1)						5(1)
湘南西部		2				1			4						7
県西						1(1)									1(1)
横須賀・三浦					2	5(1)									7(1)
横浜市				1	7			1						1	10
川崎市					4										4
相模原市					2										2
県外															0
合計	0	3	0	3	20	8(2)	7(3)	1	12(3)	1(1)	1(1)	0	0	2	58(10)

編集
後記

梅雨入りしたはずなのに、雨の気配はどこへやら。夏本番のような暑い日が続いています。エアコンの風に助けられつつ、水分補給と休息を心がけながら、なんとか元気にこの季節を楽しんでいます。皆さまにとっても、この夏が健やかで実り多き時間となりますように。(吉澤)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
☎ 046-249-2602
FAX 046-249-2601